

平成21年10月期
◇第2四半期 業績概要
◇通期業績予想

株式会社 システムプロ

平成21年6月11日
銘柄コード:2317、東証1部

1. 事業概要（平成21年4月30日現在）

➤会社概要

会社名	株式会社システムプロ（SystemPro Co.,Ltd.）		
設立	昭和58年 3月24日	資本金	15億1,375万円
発行済株式数	231,000株	株主数	7,635名
本社所在地	〒220-8123 横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー23F		
役員	代表取締役会長：逸見 愛親		代表取締役社長：三浦 賢治
	専務取締役：淵之上 勝弘		常務取締役：国分 靖哲
	常務取締役：安達 紘一郎		取締役：河地 伸一郎
	取締役：渡辺 立哉		取締役(社外)：板谷 嘉之
従業員数	701名(技術者：640名)；連結 953名(契約社員含む)		
上場市場	東京証券取引所 市場第一部		

➤事業内容

移動体高速データ通信システム事業（移動体通信機器ソフトウェア開発支援・品質検証支援）
情報システムサービス事業（企業向け各種ソリューション開発支援・品質検証支援）

➤関係会社

【連結子会社】

株式会社ProVision : 移動体通信端末ソフトウェア品質検証、保守運用

【持分法適用関連会社】

カテナ株式会社 : 金融機関向けを中心とするシステム開発、システムの運用・保守、ヘルプデスク

株式会社ジークレスト : オンラインゲームコンテンツプロバイダ

北洋情報システム株式会社 : 移動体通信端末ソフトウェア開発、各種ソリューション開発

2. システムプロの事業領域



システムプロ:
 全社一丸で、サービスの質・量の最大化を図り、他社に比べコストパフォーマンスで勝る

3-1. 当社を取り巻く環境－移動体高速データ通信システム事業

上期(08/11～09/04)

通信キャリア (足もとの利益好調)
発売機種数の維持

**比較的安定受注も
取引先の絞り込み**

端末ベンダ (売上・利益の下方修正)
販売不振 ⇒ コスト大幅削減

**取引先の絞り込み
受注減・値引き要求**

3rd パーティ

販売不振 ⇒ コスト大幅削減

受注減・値引き要求

現状

通信キャリア (足もとの利益好調)
機種数の維持、次世代への投資

**コンペに勝ち抜き
大型受注獲得**

端末ベンダ (売上・利益の下方修正)
戦略的な端末への着手

**選別に勝ち抜き
新たな戦略案件受注も**

3rd パーティ

販売不振 ⇒ コスト大幅削減

引き続き厳しい

3-2. 当社を取り巻く環境ー情報システムサービス事業

上期(08/11~09/04)

ポータル・エンドユーザ系
(足もとの業績にばらつき・先行きに不安)
コスト削減への取組み強化

**取引先の絞り込み
一括受託化の波**

大手SI'er(概ね業績不調)
コスト削減 ⇒ グループ会社優先

**取引先の絞り込み
新規案件無し・受注減**

新規顧客開拓(概ね業績不調)

新規案件まったく無し

現状

ポータル・エンドユーザ系
(足もとの業績にばらつき・先行きに不安)
コスト削減への取組み強化

**取引先の絞り込みは一巡
一括受託化の波は継続**

大手SI'er(概ね業績不調)
コスト削減 ⇒ グループ会社優先

**引き続き不調も
夏以降の案件の話が...**

新規顧客開拓(概ね業績不調)
将来への投資に前向きな企業も...

受託コンペ案件の増加

4. 平成21年10月期 第2四半期累計期間 業績概要 (平成20年11月1日～平成21年4月30日)

4-1. 連結業績

(単位:百万円)

	H21年10月期 第2四半期実績	期初計画	前年同期 実績	計画比 増減率 (%)	前年同期比 増減率 (%)
売上高	4,411	4,627	4,462	▲4.7	▲1.1
移動体高速データ通信システム	3,027	3,168	2,932	▲4.4	+3.2
情報システムサービス	1,384	1,459	1,524	▲5.1	▲9.2
セキュリティ	—	—	5	—	—
売上原価	2,918	3,064	2,957	▲4.8	▲1.3
売上総利益	1,492	1,562	1,505	▲4.5	▲0.8
移動体高速データ通信システム	1,051	1,132	1,135	▲7.2	▲7.4
情報システムサービス	441	430	405	+2.6	+8.9
セキュリティ	—	—	▲36	—	—
販管費	641	673	715	▲4.8	▲10.4
営業利益	851	889	789	▲4.2	+7.9
営業利益率	19.3%	19.2%	17.7%	+0.1p	+1.6p
経常利益	834	1,179	967	▲29.2	▲13.8
経常利益率	18.9%	25.5%	21.7%	▲6.6p	▲2.8p
純利益	485	817	546	▲40.7	▲11.3
純利益率	11.0%	17.7%	12.3%	▲6.7p	▲1.3p

4-2. 単体業績

(単位:百万円)

	H21年10月期 第2四半期実績	期初計画	前年同期 実績	計画比 増減率 (%)	前年同期比 増減率 (%)
売上高	4,236	4,461	4,309	▲5.0	▲1.7
移動体高速データ通信システム	2,890	3,030	2,794	▲4.6	+3.4
情報システムサービス	1,345	1,430	1,514	▲6.0	▲11.2
売上原価	2,829	3,003	2,925	▲5.8	▲3.3
売上総利益	1,406	1,457	1,384	▲3.5	+1.6
移動体高速データ通信システム	971	1,036	997	▲2.6	▲2.6
情報システムサービス	435	421	386	+3.3	+12.7
販管費	569	592	530	▲4.0	+7.2
営業利益	837	864	853	▲3.1	▲1.9
営業利益率	19.8%	19.4%	19.8%	+0.4p	0.0p
経常利益	875	889	844	▲1.6	+3.6
経常利益率	20.7%	19.9%	19.6%	+0.8p	+1.1p
純利益	533	543	410	▲1.8	+30.0
純利益率	12.6%	12.2%	9.5%	+0.4p	+3.1p

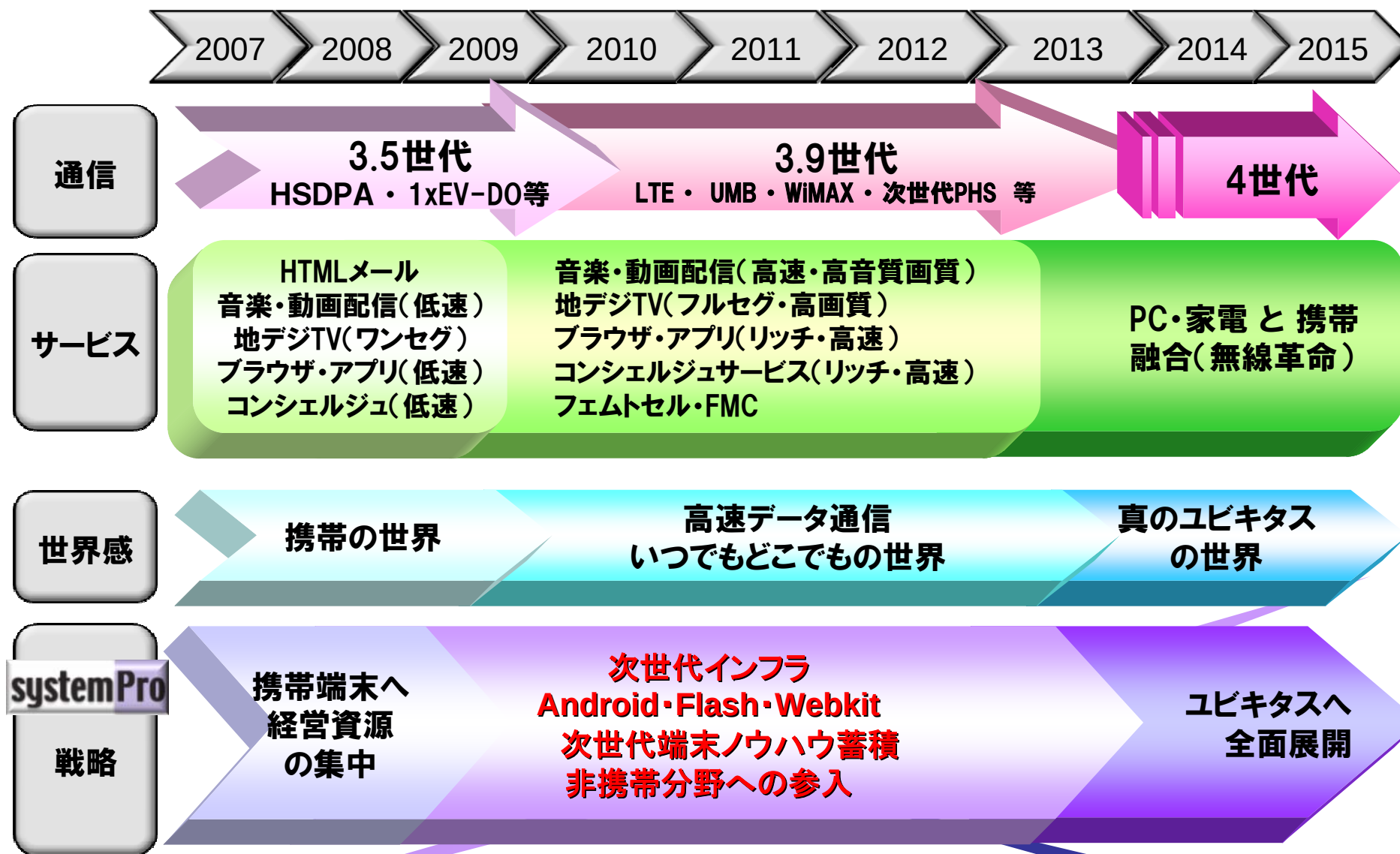
4-3. システムプロ・グループの状況（H21年4月末）

	会社名	事業ドメイン	業績	トピックス
子会社	ProVision SP:80% 北洋情報:20%	- 品質管理事業 - 保守・運用事業 - S/W 開発事業	売 上 : 613百万円 連結売上 : 175百万円 経常利益 : 10百万円	4月末の社員数は252名。 1ヶ月間の研修の後、システムプロの品質検証業務にて稼働中。システムプロの売上・利益に対する貢献大。 <10月決算>
	カテナ SP:37.8%	- 金融向けソリューション開発 - 保守・運用業務 - 機器、ソフト販売	売 上 : 37,211百万円 経常利益 : 2,039百万円 当期利益 : 1,069百万円 持分法投資損失:64百万円	「Google Apps」の正規販売代理店に。システムプロと共同で「クラウドソリューション」サービス事業に新規参入。 <3月決算>
持分法適用会社	G-Crest SP:30.1% サイバーエージェント: 59.8%	- コンテンツ・プロバイダ事業 - オンラインゲーム事業 - 携帯向けコンテンツ事業	持分法投資利益:31百万円	既存コンテンツ充実と新規コンテンツ拡充を進めた結果、単月売上が2億円を突破。 ゲームポータルサイトのカスタマイズ・運用を当社が支援。 <9月決算>
	北洋情報システム SP:25%	- 組み込みソフト開発・評価 - ソリューション開発	売 上 : 1,193百万円 経常利益 : 160百万円 持分法投資利益:17百万円	当社から札幌へのオフサイト開発を発注。現在モバイル案件を中心に12工数/月稼働中。 <8月決算>

※ カテナ社の業績は平成21年3月期通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の数値であり、持分法投資損失は平成20年10月1日～平成21年3月31日の業績を取り込んでおります。

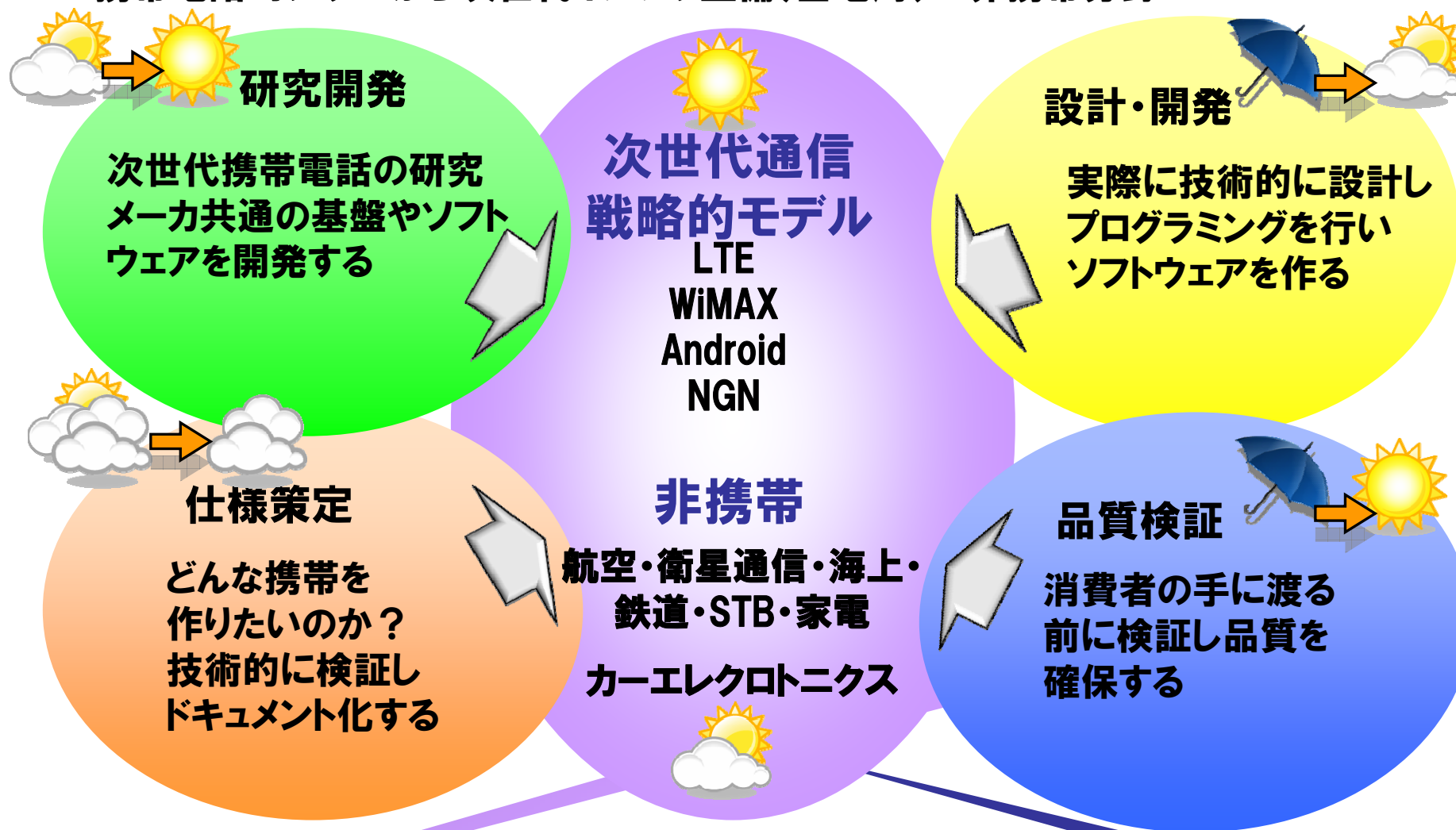
5. 平成21年10月期 事業戦略

5-1. ロードマップー移動体高速データ通信システム事業部



5-2. 業務内容別現況と今後の戦略 — 移動体高速データ通信システム事業部

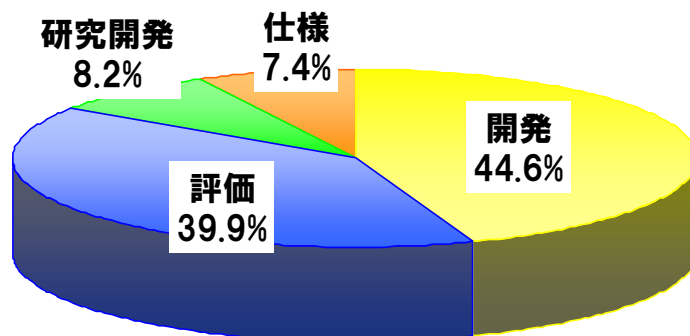
来るべきユビキタス社会に向けて
携帯電話 オンリー から次世代インフラ整備(基地局)・非携帯分野へ



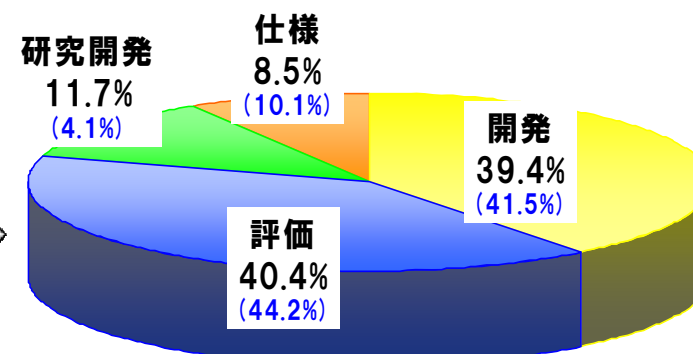
5-3. 工程別・キャリア別比率－移動体高速データ通信システム事業

工程別

H20年10月期



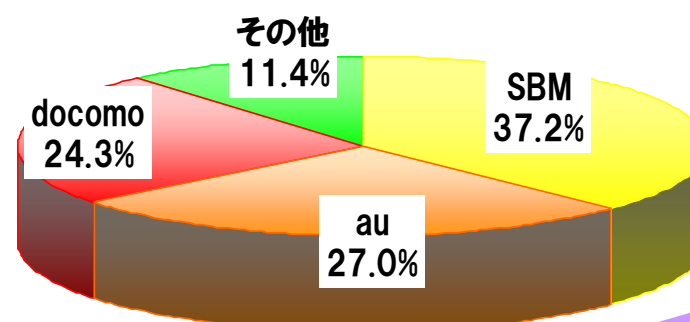
H21年10月期見込み



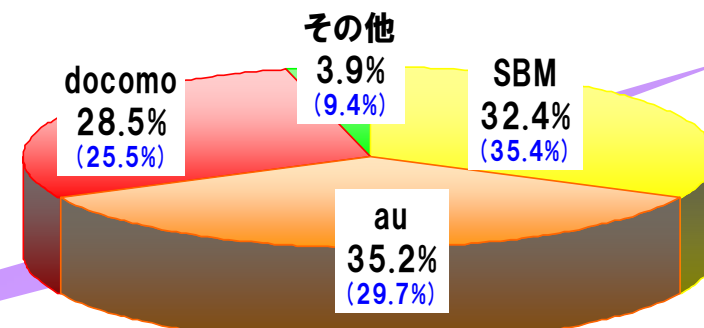
() 内の数値は、期初計画値

キャリア別

H20年10月期

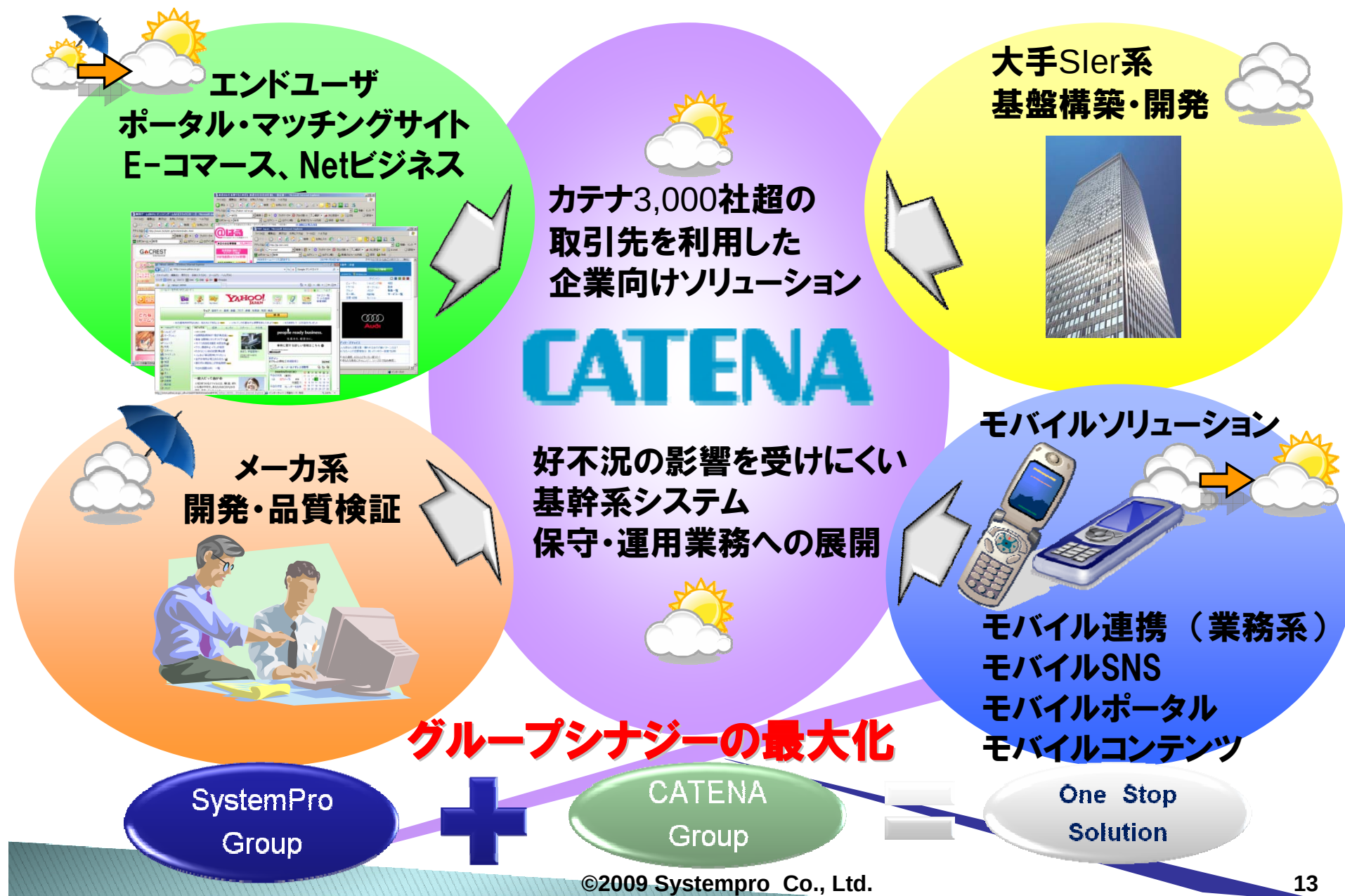


H21年10月期見込み



() 内の数値は、期初計画値

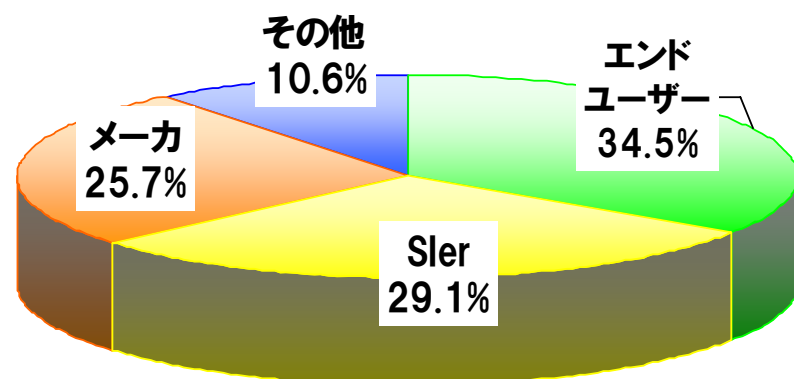
5-4. 業務内容別現況と今後の戦略－情報システムサービス事業部



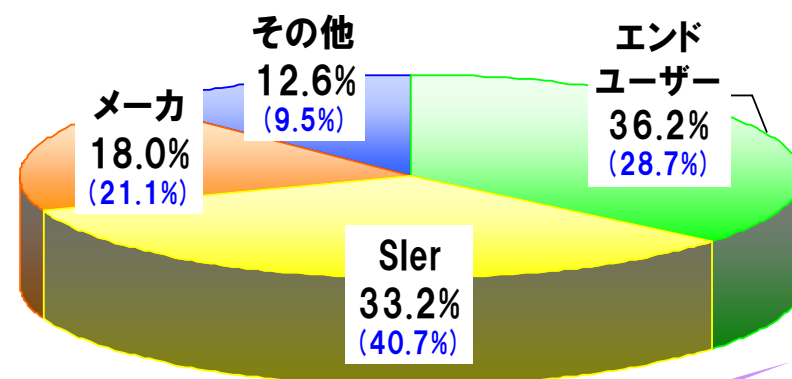
5-5. 顧客別比率－情報システムサービス事業

顧客別

H20年10月期



H21年10月期見込み



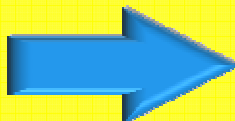
() 内の数値は、期初計画値

5-6. 強みを活かした事業展開ー情報システムサービス事業部

市 場

好景気時

サービス品質・量 $\leq$ 価格



不景気時

サービス品質・量 $\geq$ 価格

同業他社

H21年3月期

◆大手Sler（10社平均）

粗利益率： 24%

営業利益率： 8%

単価(当社比)： 1.5 ~ 2倍

◆中堅・独立系Sler（10社平均）

粗利益率： 19%

営業利益率： 7%

単価(当社比)： 同等



SystemPro

H21年10月期見込み

**ローコストオペレーションと
サービスの質・量の最大化で
価格競争力アップ**

粗利益率： 32.2%(全社)

30.9%(情シ)

営業利益率： 17.2%(全社)

15.3%(情シ)

6. 平成21年10月期 通期業績予想 (平成20年11月1日～平成21年10月31日)

6-1. 平成21年10月期 通期業績予想

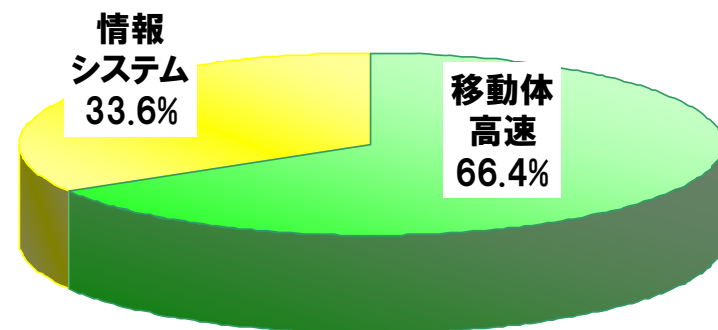
(単位:百万円)

	連結			単体		
		前期実績	増減率 (%)		前期実績	増減率 (%)
売上高	8,657	9,603	▲9.9	8,331	9,292	▲10.3
移動体高速データ	5,978	6,372	▲6.2	5,731	6,104	▲6.1
情報システムサービス	2,679	3,225	▲16.9	2,599	3,188	▲18.5
セキュリティ	—	6	—	—	—	—
売上原価	5,871	6,338	▲7.4	5,682	6,292	▲9.7
売上総利益	2,786	3,265	▲14.7	2,648	2,999	▲11.7
移動体高速データ	1,958	2,344	▲16.5	1,827	2,082	▲12.2
情報システムサービス	827	960	▲13.9	821	917	▲10.5
セキュリティ	—	▲39	—	—	—	—
販管費	1,300	1,449	▲10.2	1,159	1,136	+2.0
営業利益	1,485	1,816	▲18.2	1,489	1,863	▲20.1
営業利益率	17.2%	18.9%	▲1.7p	17.9%	20.1%	▲2.2p
経常利益	1,452	2,153	▲32.6	1,575	1,924	▲18.1
経常利益率	16.8%	22.4%	▲5.6p	18.9%	20.7%	▲1.8p
純利益	845	1,275	▲33.7	970	1,057	▲8.3
純利益率	9.8%	13.3%	▲3.5p	11.7%	11.4%	+0.3p

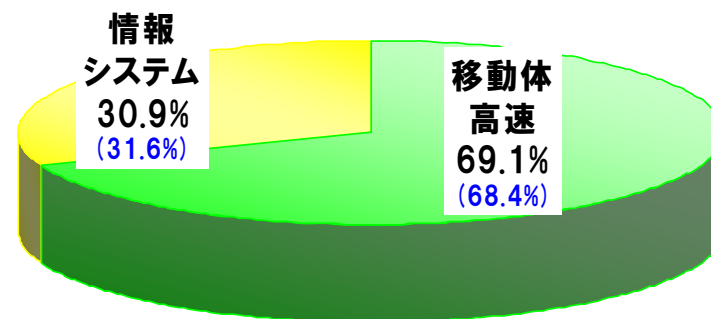
6-2. 連結構成比

売上

H20年10月期



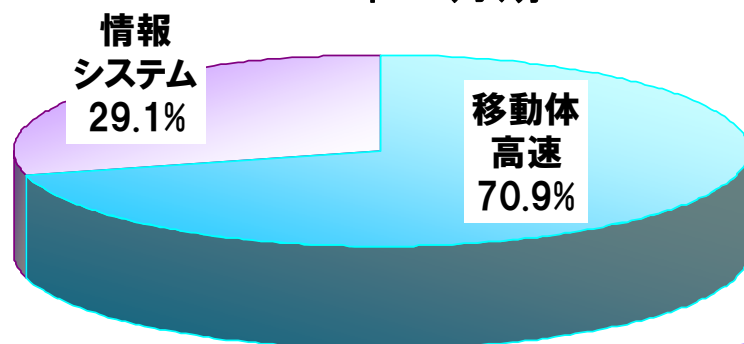
H21年10月期見込み



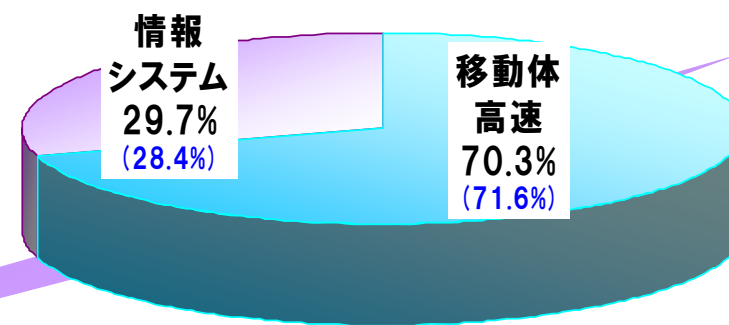
() 内の数値は、期初計画値

粗利益

H20年10月期



H21年10月期見込み

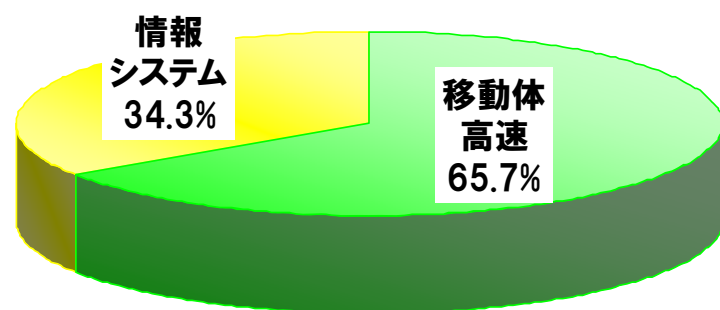


() 内の数値は、期初計画値

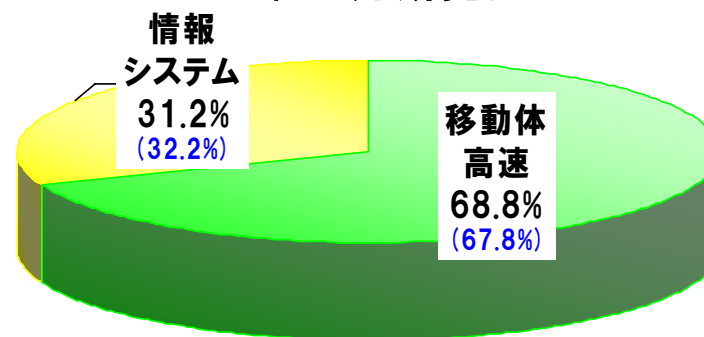
6-3. 単体構成比

売上

H20年10月期



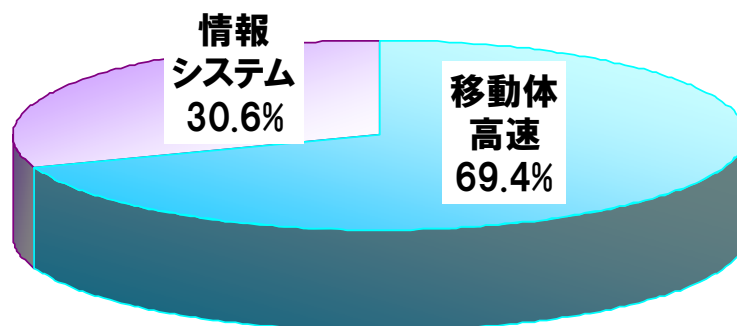
H21年10月期見込み



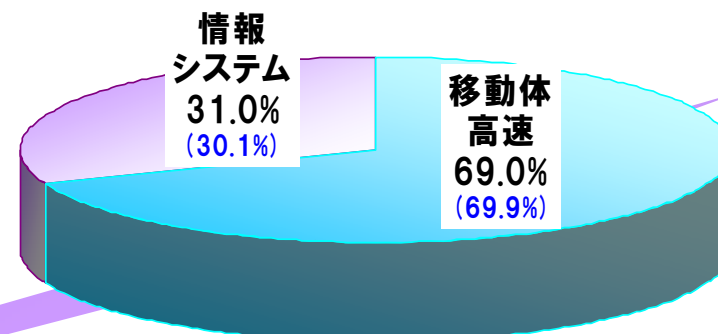
() 内の数値は、期初計画値

粗利益

H20年10月期



H21年10月期見込み



() 内の数値は、期初計画値

6-4. 連結人員計画

(単位:人)

	H19年10月期 実績	H20年10月期 実績	H21年10月期 修正計画
システムプロ	546	613	638 (648)
ProVision	190	260	242 (242)
全社	736	873	880 (890)

※数字は各期末の技術者数(契約社員含む)

※H21年10月期の()内の数値は、期初計画値

7. 重点施策

不況を追い風に変えるべく次の3点に注力

1. 経験豊富なエンジニアの積極採用
2. コスト意識を持ち高い生産性とマネジメント力を持ったエンジニア集団の育成
3. 高い生産性による価格競争力を武器としたシェア拡大



景気回復時に成長スピードを加速させる

ご清聴ありがとうございました。

株式会社システムプロ

本資料に記載されている業績予想及び将来の事象に関する記載は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、経済・事業環境の変化など様々な要因により変動することがありますので、ご了承ください。